内容紹介

鋼構造に関する展望

司会・吉田弥智／小西一郎・奥村敏恵

土木学会誌 第61巻第4号（*Annual '76*）
pp.1 ～ 7
昭和51年 4 月（April, 1976）

構造物の設計・施工に伴う安全性・信頼度ならびに本四架橋を中心とした設計・施工に関する問題点を，次の二論文によってとりまとめたのが本文である．

❶ 特に安全性，信頼性について　　（小西一郎）
❷ 長支間橋梁における鋼構造の問題点（奥村敏恵）

写真情報の土木工学への利用

司会・佐々波清夫／大嶋太市・渡辺貫太郎

土木学会誌 第61巻第 4 号（*Annual '76*）
pp.8 ～ 19
昭和51年 4 月（April, 1976）

被写体の定量的・定性的写真像情報の処理方式が計測面にどのように利用されているか，また，特に土木の計画・調査に利用する場合のシステム，器材，方法，精度および今後の展望について日本と外国の諸例を比較・記述するものであり，次の二論文で構成されている．

❶ 写真情報とその利用　　（大嶋　太市）
❷ 海洋環境のリモートセンシング（渡辺貫太郎）．

高炉スラグのコンクリート材料としての利用について

国分正胤／小林一輔・山崎寛司・吉田弥智

土木学会誌 第61巻第 4 号（*Annual '76*）
pp.20 ～ 29
昭和51年 4 月（April, 1976）

銑鉄製造過程の副産物である高炉スラグは，水滓と徐冷滓に大分することができるが，これらはいずれも広くコンクリート材料として利用できるものと考えられる．そこで本文ではこの間の問題に取材して，次の諸件について討議したものである．① コンクリート材料としての展望，② セメント材料としての利用，③ 混和材，グラウト材，その他の利用，④ 骨材としての利用．

内容紹介

自然環境から見た土砂収支のあり方

足立昭平／細井正延・河村三郎

土木学会誌 第61巻第4号（*Annual '76*）
pp.30 ～ 34
昭和51年4月（April, 1976）

河川上流部における大貯水池の建設や河道からの大量の土砂採取などの影響によって，大規模な河床変動や海岸侵食が現われている例が多いといわれる．
ここでは，大井川，天竜川を取り上げ，これらの要因の相互関係を調べ，将来の土砂収支のあり方について検討したのが本文である．

土の変形問題の意義と解明への考察

司会・西田義親／村山朔郎

土木学会誌 第61巻第4号（*Annual '76*）
pp.35 ～ 40
昭和51年4月（April, 1976）

最近の土質力学は，学問，技術の両分野ともども非常に発展してきているが，それでもなお，力学的には十分に解析されていない問題が残っており，その一つに変形問題が考えられる．ここでは，力学面からみた土質力学の発展の経過を概述し，今後の開発が望まれる方面の一つとして変形問題を取り上げることの理由とともに，その解明への一つの試みについて述べたものが本文である．

新交通システムへの期待

渡辺新三／佐佐木綱・加藤　晃

土木学会誌 第61巻第4号（*Annual '76*）
pp.41 ～ 48
昭和51年4月（April, 1976）

わが国の都市周辺および都市内における交通需要の増大と，これを処理する交通施設のアンバランスが，われわれの生活に多大な損失を与えている．この現状を打開する一つの方法として，新交通システムの導入が数年前からいわれているが，果たして新交通システムがこの役割をどの程度分担しうるか，ソフトとハードの両面から求めたものが本文である．

内容紹介

会誌のあり方と明日の学会誌

八十島義之助／長尾義三・横山義雄・高橋裕

土木学会誌 第61巻第4号（*Annual '76*）
pp.49 ～ 55
昭和51年4月（April, 1976）

土木学会誌は会員全員に配布されている唯一の定期刊行物であり，したがって，会員に最も親しまれているべきものである．一方，外部に対しても学会の顔としての役割を果たすべきものである．そこで，学会誌のあり方について，関係三氏の話題提供を媒体として，大会参加者と協議した成果をとりまとめたものが本文である．

土木学会本部事務局の電話と担当職員のご案内

ご用命はなるべく内線明示のうえ担当職員あてお願いします．なお，委員会の担当は会員各位からのご照会の多いものを主として示してありますので，お含み下さい．

土木学会（本部）電話 03-355-3441 番（代表）

❶ 学会誌，論文報告集の送付，会費の納入は**内線 34 番** 会員課・町田，森まで
❷ 住所変更は**内線 34 番** 会員課・森まで
❸ 会誌，論文報告集のバックナンバー照会は**内線 33 番** 会員課・安野まで
❹ 国際会議，ユネスコクーポン，会議室・講堂の賃貸などは**内線 31 番** 総務課・鈴木まで
❺ コンクリート，衛生関係委員会業務は**内線 25 番** 事業課・鈴木まで
❻ 本四，鋼構造関係委員会業務は**内線 26 番** 事業課・黛まで
❼ 岩盤，耐震関係委員会業務は**内線 26 番** 事業課・林まで
❽ 海外旅行，行事企画，原子力委員会業務は**内線 27 番** 事業課・松尾まで
❾ 水理，海岸，トンネル委員会業務は**内線 27 番** 事業課・永井まで
❿ 表彰委員会業務は**内線 31 番** 総務課・峰岸まで
⓫ 図書販売は**内線 36，38 番** 図書頒布係・吉田，大原まで
⓬ 図書館業務，文献照会，コピーサービス，フィルムサービスは**内線 40 番** 図書館・藤井，菊池まで
⓭ 会誌編集，書評，計画学委員会業務は**内線 21，23 番** 編集課・河村，石川まで
⓮ 文献抄録，視聴覚委員会，『橋』の編集業務は**内線 24 番** 編集課・阿部，大手まで
⓯ 『論文報告集』，『欧文年報』，海外活動委員会業務は**内線 22 番** 編集課・石塚，中村まで
⓰ 『土木史』，不定期刊行物は**内線 23 番** 編集課・五老海（いさみ）まで
⓱ 対外国交信は**内線 24 番** 編集課・大手まで